

【みやこわすれ（都忘れ）】

なんとも品のある名前である。

都の高貴な公家の娘が、遠国の嫁ぎ先の庭で小さな花をめでて、望郷の思いに駆られているような響きがある。

実際には、遠国に流された上皇がこの花を見て、都のことは忘れようと言ったそう。



(2007年5月3日撮影)

庭の「みやこわすれ」は、雑草に囲まれて消えて仕舞いそうである。  
何とか助けねばなるまい。

Copyright (C) 2007 増田信敬 All rights reserved